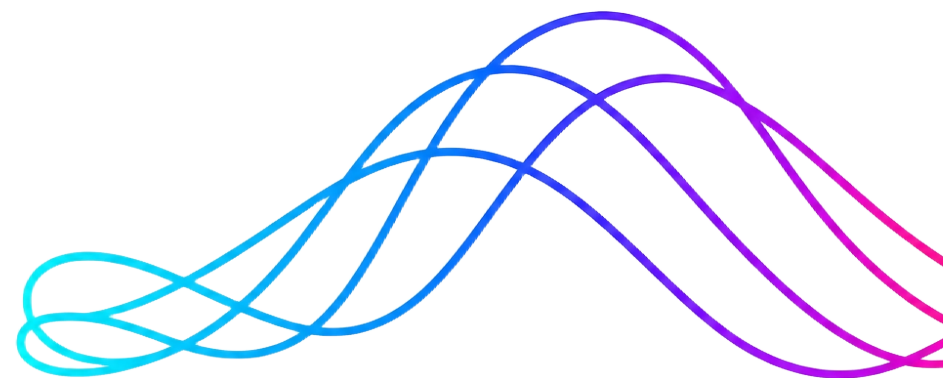


SHANNON LLC | PRODUCT

プロダクト開発・運営

サービス資料

企画から開発・運営まで一貫して。長く運用する前提で設計します。



S H A N N O

企画から開発・運営まで、一貫して手がけます

リリースを終点とせず、**運用フェーズでの価値創出まで**を一貫して担います。関わり方は請負型とレベニュー型から、案件に合わせて選べます。

主な仕事

プロダクトの企画・開発・運営（請負型／レベニュー型） ／ 高速PoC — プロトタイプで素早く仮説を検証 ／ AIモダナイゼーション — 既存プロダクトへのAI組み込み ／ 導入時の要件設計と運用での伴走 ／ 監査・コンプライアンス対応の機能設計

請負型（受託）



※ 対応範囲・期間・金額を内訳付きの書面で合意してから開発に入ります。予算計画が立てやすい進め方です。

レベニュー型（レベニューシェア）



※ 初期費用を抑え、事業の成果を分配する共同開発。自社プロダクト運営の知見を持ち込みます。

※ 請負型の保守範囲・レベニュー型の分配条件は、案件ごとに契約書面で定めます。料金は要件確定後に書面でご提示します。

運用者としての目線：自社SaaS『警備サイン』『規程ログ』を運営するチームが開発を担当。「5年後にメンテできる構造」を最初から選びます。

フェーズに応じて選べる、4つのメニューを用意しています

立ち上げ・検証・AI活用・AI集客。単体でも、組み合わせでもご依頼いただけます。

① プロダクト開発 | パーティカルSaaS開発



特定業種・業務に特化したSaaSを、企画から開発・運営まで。マルチテナント設計から運用まで、請負型・レベニユー型で共同開発します。

② 検証 | 高速PoC・プロトタイプ検証



アイデアを最短で動くプロトタイプにし、実データ・実利用で仮説を検証。生成AIの活用も前提に、本開発への判断材料を短期間でそろえます。

③ AI活用 | AIモダナイゼーション



既存を作り替えず、MCPでAIから安全に扱える状態へ。権限・監査を担保し、Google Chatの秘書AIなど業務への段階導入まで支援します。

④ AI検索 | AI検索最適化 (AIO / GEO)



ChatGPT・Perplexity・Google AI Overviewsなどの生成AIに、**正しく発見・引用される状態へ**。AIクローラーの受け入れ・llms.txt・構造化データまで整えます。

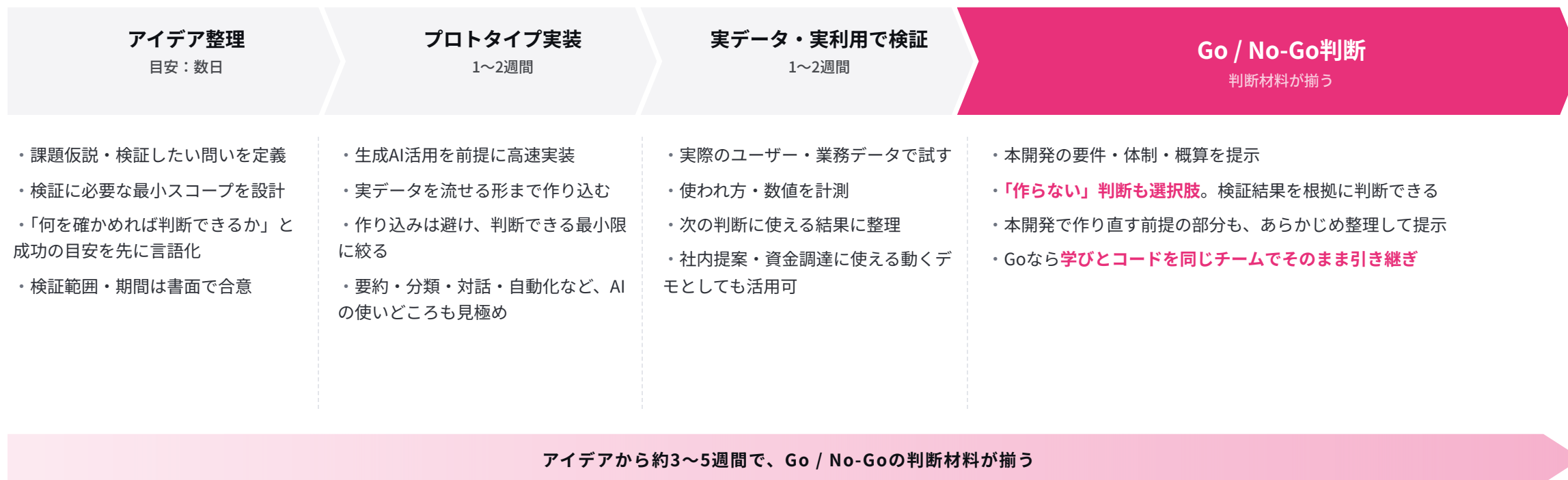
※ MCP=Model Context Protocol (AIと既存システムを安全につなぐ接続規格)。AIO/GEO=生成AI検索での発見・引用を高める最適化。llms.txt=生成AIクローラー向けのサイト案内ファイル。

フェーズが進んでも同じチームで： PoC → 本開発 → 運用と、検証で得た学びとコードを引き継いで継続できます。次ページで高速PoCの進め方をご紹介します。

高速PoC

本開発に投資する前に、「作るべきか」を動くもので検証します

動くプロトタイプと実データで仮説を検証し、Go / No-Goの判断材料を短期間でそろえます。



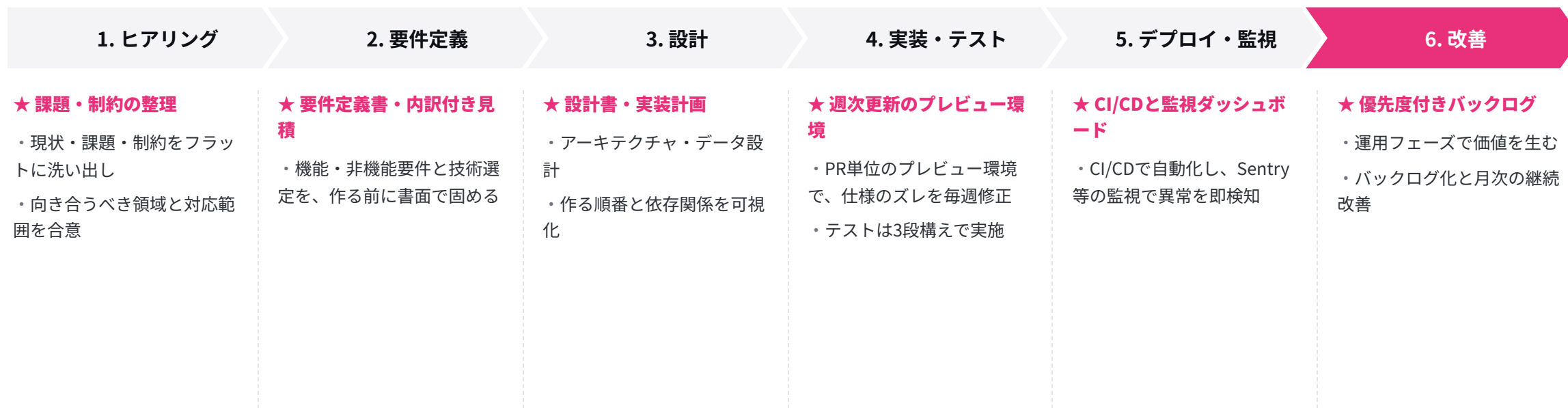
※ PoC=Proof of Concept（概念実証）。Go / No-Go=本開発に進むかどうかの判断。期間は上記各フェーズの目安の合計です。

作り捨てにしません：検証で得た学びとコードは本開発に引き継ぎます。Goの場合は次ページの開発プロセスにそのまま接続します。

SHANNONの開発プロセス

要件から運用まで通して支える

要件を整理し、設計と実装に落とし、リリース後は監視しながら改善を継続します。



要件 → 設計 → 実装 → リリース後は監視しながら改善へ（同じチームが通して担当）

※ ★＝各フェーズの主なアウトプット。見積は対応範囲・期間・金額を内訳付きの書面で提示。発注前に費用と納期を明確にしてから契約に進みます。

運用も同じチームで：営業日9-18時のサポート体制でインシデントに対応。監視はSentryを中心に、案件にあわせてツールを選定します。

開発事例

新規開発・リプレイス・伴走のいずれにも対応してきました

金融・警備・介護・外食・ヘルスケアなど、業種を問わず対応しています。

	クライアント	内容
新規開発	金融商品大手事業会社	金融商品申込サービスを、Laravel + Livewire でゼロから新規開発
	警備会社	管制業務・配置業務を、企画から内製化したReactアプリへ（週次現場レビュー）
	介護事業者	介護施設のスマホアプリ＋管理コンソールを一気通貫構築
	コンプライアンス領域SaaS事業者	内部通報システムを、Next.js + Prisma で1週間プロト→PMとして本格立ち上げ
再構築	HR SaaS事業者	PHP製HR SaaSを、Go + React で18ヶ月かけて段階リプレイス（新機能リリースを月次で維持）
	外食チェーン	オフショア製の飲食店アプリを、Laravel + React + Inertia で内製品質に作り直し
伴走	ヘルスケア事業者	ヘルスケアIoTデバイス連携アプリを、設計から運用設計まで12ヶ月伴走

※ 「再構築」は既存システムを止めずに作り直す段階リプレイス案件、「伴走」は社内チームと並走する長期支援案件です。

出典：公開実績（<https://shannon.co.jp> 支援実績一覧）より抜粋。2026年7月時点。

自社プロダクトの運用知見を、お客さまのプロダクトに



警備サイン

PRODUCT 01 警備会社・建設会社向け

警備業務を一元管理するクラウドシステム。電子署名・GPS勤怠・AI配置で、紙と電話の運用から脱却し、ペーパーレス化と業務効率化を進めます。

- ・ 管制業務工数 約50%削減
- ・ 電話連絡業務ゼロ・日報自動化
- ・ <https://security-sign.jp/>



規程ログ

PRODUCT 02 規程管理SaaS

社内規程・マニュアル・労使協定の作成・改定・周知・閲覧記録を一元管理するSaaS。ファイル名での版管理から卒業し、監査ログ付きの仕組みへ。

- ・ 規程テンプレート132本+AI取込
- ・ 閲覧ログ・透かし入りPDFでISMS／Pマーク監査対応
- ・ <https://kiteilog.jp/>

2本

自社プロダクトを運営
警備サイン／規程ログ

約50%

管制業務工数を削減
『警備サイン』導入企業の例

132本

規程テンプレート
『規程ログ』搭載。AI取込にも対応

この2本を運用しているメンバーがお客さまのプロダクトを担当し、「どこで効くか」を運用経験を踏まえて判断します。

会社概要

社名 シャノン合同会社 (SHANNON LIMITED LIABILITY COMPANY)

代表者 三浦 昌大 (Masahiro Miura)

設立 2026年4月 (決算月：3月)

拠点 東京都豊島区池袋2丁目17-8 / 千葉県柏市若柴178-4 / 北海道札幌市中央区北二条東3丁目2番2号マルタビル8階

資本金 9,900,000円

取引銀行 三菱UFJ銀行 柏支店

事業内容 プロダクト開発・運営 / インフラ構築・運用 / エンジニアリングエージェンシー

パートナー Xserverビジネスパートナー / Microsoft Cloud Partner Program

連絡先 電話 050-1794-9651 / contact@shannon.co.jp / <https://shannon.co.jp>

3拠点

東京・千葉・札幌

28件

公開実績
2014年～現在

10業種超

対応業種
金融・医療・小売・SaaS・警備など



E.O.F

